

1.計画の位置づけと目的

市役所本庁舎は、災害時のBCP（事業継続計画）の円滑な実施を担保する必要があることから、2016年度から免震改修工事の設計に着手し、2017～2020年にかけて免震改修工事を実施しました。

今後、継続的に維持管理していくため、施設、整備機器等の老朽化対策や、利用者の利便性の向上、快適な執務空間の確保、省エネルギー対策、災害時の機能向上等に必要な改修事項を明らかにする必要があります。

前回の計画から一定程度の年数が経過したため、使用想定期間まで現状の機能を維持できるよう、日野市公共施設等総合管理計画（令和5年3月改訂版）に基づき、今後の中長期の修繕計画を整え、日野市役所本庁舎個別施設計画の取り纏めをします。

2.建築概要

建築年	1977年
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地下1階 地上7階
敷地面積	14,410㎡
建築面積	2,967㎡
延床面積	12,291㎡

3.推計期間

平成29年度（2017年度）策定の「日野市役所本庁舎長寿命化・機能向上対策計画」では、鉄筋コンクリート構造体の総合耐久性を考慮し、市役所本庁舎の使用想定期間を令和24年（2042年）としていることから、市役所本庁舎の修繕・更新費用の推計期間は、2025年から使用想定期間の2042年までとします。

4.長期修繕計画

市役所本庁舎の使用想定期間までに必要な修繕・更新費用の推計は、一般社団法人・建築保全センターが編集・発行している令和5年度版「建築物のライフサイクルコスト」のLCC計算プログラムにより試算します。

出典：編集・発行 一般社団法人・建築保全センター
令和5年度版「建築物のライフサイクルコスト」



LCC計算プログラム結果の市役所本庁舎長期修繕費用

工事種別	長期修繕費用 千円
建築	212,126
電気	571,348
機械	1,109,611
修繕費合計	1,893,085

市役所本庁舎のLCC計算プログラムによる長期修繕費用の結果は右表の通りです。

2017～2024年度までに本庁舎免震改修工事を始め、14種類の総額50億4,600万円の改修工事を実施しています。この事実を踏まえて、2042年の使用期限まで機能維持を図るために、今後必要な改修事項と長期修繕費用は右表の通りです。

また、前計画（日野市役所本庁舎長寿命化・機能向上対策計画）における未着手事項については引き続き実施すべき事項として本計画に据えることとします。

今後必要な改修事項

工事種別	区分
建築	屋上防水
電気	天井LED照明、電気室、OAキュービクル、自動火災報知
機械	記載なし

今後必要な長期修繕費用

工事種別	長期修繕費用 千円
建築	154,368
電気	571,348
機械	111,000
修繕費合計	836,716

5.今後の改修事項

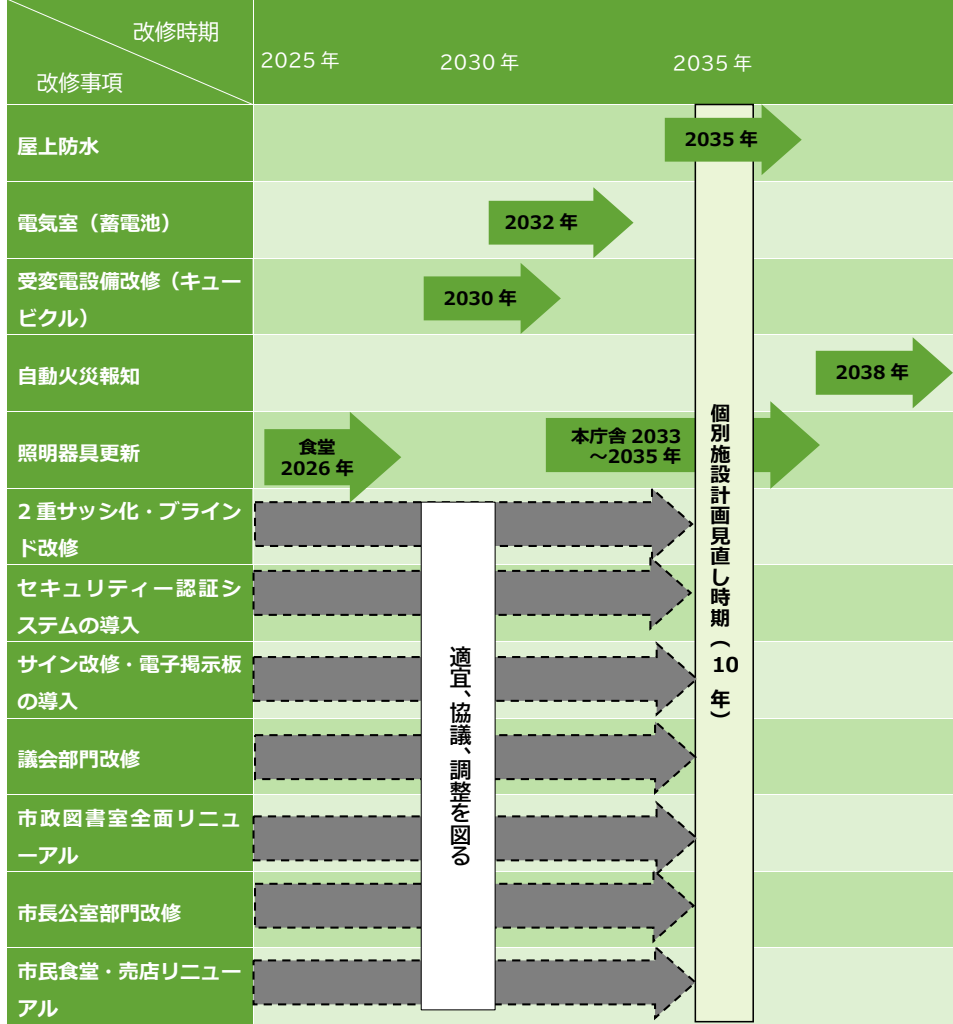
今後必要な長寿命化対策

工事種類	工事内容
屋上防水・外壁改修	漏水対策、外壁タイルの落下防止対策により鉄筋コンクリートの躯体の長寿命化を図ります。
電気設備改修	更新時期を迎えている OA キュービクル、電気室の改修を検討してまいります。 キュービクル本体、架台、手すりの老朽化、電圧監視盤の入れ替えが更新対象となります。
消防設備等改修	令和5年に改修し、今後、更新時期を迎える自動火災報知設備の改修を計画します。

今後必要な機能向上対策（H29日野市役所本庁舎長寿命化・機能向上対策計画における未着手事項）

工事種類	工事内容
2重サッシ化・ブラインド改修	2重サッシ化により断熱効果を高め、室内環境の向上と省エネ化を推進します。また、老朽化が著しいブラインドを更新し執務環境の改善と美観の向上に取り組みます。
照明器具更新	既存のLED照明の更新時期に合わせて更新改修を行います。また、未着手の食堂についてもLED化を積極的に進めて参ります。
セキュリティ認証システムの導入	各階エレベーターホールにセキュリティ認証機能付きの自動ドアを設置し、閉庁時のセキュリティ向上を図ります。
サイン改修 電子掲示板の導入	サイン改修によるユニバーサルデザインの推進と電子掲示板の導入により情報発信力向上を図ります。併せて紙ベースの庁内掲示板を整理し庁内の美観向上に取り組みます。
議会部門改修	議場改修(議場段差解消、傍聴席改善、磁気ループ設置、音響・映像システム更新、座席更新、発言台車いす対応等)及び間仕切り設置による全員協議室の拡張とインターネット中継システム導入、会派控室・議員応接室等の配置見直し、老朽化した什器類更新によるユニバーサルデザインの推進と機能向上に取り組みます。
市政図書室 全面リニューアル	蔵書の整理と書架等の見直しを行い、誰もが利用しやすい環境整備を図ります。
市長公室部門改修	市長室・応接室等のリニューアルを行い、市のイメージアップとセキュリティ向上に取り組みます。
市民食堂・売店 リニューアル	市民食堂・売店リニューアルの検討を進め、来庁者の利便性の向上に取り組みます。

6.今後の改修時期



7.今後の維持管理に向けて

本計画は使用想定を2042年と定めていますが、今後は本庁舎の使用可能期間及び、更なる長寿命化改修工事の実施の可否などについて検討を行い、今後10年を目途に計画の見直しを図る必要があると考えます。

市役所本庁舎の建て替えについて、検討着手する時期等も見極めていく必要があります。

本庁舎をこのまま維持して長寿命化対策をしながら使用し続けるのか、建替えるのか。今後の社会経済環境を見据えながら、費用対効果の視点も含めて総合的に判断する必要があります。